

平成 25 年度 SELECT English Conversation 観点別評価規準例

1. 評価規準例 縮約版

※これは、本指導書付録 CD-ROM に収録されている「観点別評価規準案」より、その主要部分を抜粋したものです。

●Lesson 1

- ・疑問詞で始まる疑問文は、文尾を下げたイントネーションで発話することができる。
- ・出身地はどこかたずね、答える表現を使うことができる。
- ・入りたいクラブをたずね、答える表現を使うことができる。
- ・趣味は何かをたずね、答える表現を使うことができる。

●Lesson 2

- ・tennis, weekend は、第 1 音節を強く発音することができる。
- ・Saturday, usually は、第 1 音節を強く発音することができる。
- ・通常の休日の過ごし方をたずね、答えることができる。
- ・過去の休日の過ごし方をたずね、答えることができる。
- ・休日の過ごし方の予定をたずね、答えることができる。

●Lesson 3

- ・あいさつの表現である How are you?を使うことができる。
- ・体調をたずねる表現 Are you okay?を使うことができる。
- ・体調を答える表現 I'm not feeling well. I have a ~. I feel ~. を使うことができる。
- ・相手の体調が悪いことを同情し、アドバイスをする表現 That's too bad. You should ~. を使うことができる。

●Lesson 4

- ・教科書 p.27 の SOUNDS で示されているように、文の中で強く発音された単語は、その文の意味を理解するのに重要であることを理解することができる。
- ・学校の大きさをたずね、答える表現を使うことができる。
- ・学校の特徴（有名なものなど）をたずね、答える表現を使うことができる。
- ・行事日程をたずね、答える表現を使うことができる。

●Lesson 5

- ・天気予報の表現で、文の区切りに注意することができる。
- ・今日の天気をたずねる表現を使うことができる。

- ・今日の天気を答える表現を使うことができる。
- ・明日の天気予報をたずねる表現を使うことができる。
- ・明日の天気予報を答える表現を使うことができる。
- ・今の季節の気候をたずねる表現を使うことができる。
- ・今の季節の気候を答える表現を知っている。

●Lesson 6

- ・Do you ~?で始まる疑問文は、文尾を上げたイントネーションで発話することができる。
- ・あるもの（こと、人）が好きかどうかをたずね、答えることができる。
- ・好きなもの（こと）の種類をたずね、答えることができる。
- ・気に入っている人（もの、こと）は何かをたずね、答えることができる。

●Lesson 7

- ・Can I ~?を使った、相手がいま話せるかたずねる表現を使うことができる。
- ・Sorry, ~を使った「話せない」という回答とその理由を言う表現を使うことができる。
- ・Will you ~?を使って相手が時間通りに来られるかをたずねる表現を使うことができる。
- ・時間通りに来られる、または遅れるという表現を使うことができる。
- ・相手が email を読んだかどうかを完了形を使った表現でたずねることができる。
- ・email を読んだかどうか完了形を使った表現で答えることができる。

●Lesson 8

- ・道案内の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを理解し、使うことができる。
- ・知らない人に話しかけるときの Excuse me. という表現を使うことができる。
- ・Where ~?や、Could you tell me the way to ~?で道をたずねる表現を使うことができる。
- ・go straight, turn など、道を言う表現を使うことができる。
- ・at the end of ~, next to ~, on the corner of ~ など、場所を表す表現を使うことができる。

●Lesson 9

- ・行き方の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを理解し、使うことができる。
- ・知らない人に話しかけるときの Excuse me. という表現を使うことができる。

- ・目的地までの行き方と答え方をたずねる表現を使うことができる。
- ・乗りかえる駅のたずね方と答え方の表現を知っている。
- ・下車駅がいくつめかのたずね方と答え方の表現を使うことができる。
- ・目的地までの乗車時間のたずね方と答え方の表現を使うことができる。
(文化についての理解)
- ・ていねいに話しかけるときの Excuse me. と言うことができる。
- ・道を聞かれてわからない場合、答えることができる。

●Lesson 10

- ・買い物の表現で、強く発音するところ、イントネーションに注意するところを理解し、使うことができる。
- ・客に最初に挨拶する表現を使うことができる。
- ・欲しいものを伝える表現を使うことができる。
- ・欲しいサイズを伝える表現を使うことができる。
- ・欲しい色を伝える表現を使うことができる。
- ・値段に関する表現を使うことができる。
- ・別な安い物を見せてもらったり、進めたりする表現を使うことができる。

●Lesson 11

- ・May I ~? がレストランで料理の注文を取る表現であることを理解し、使うことができる。
- ・I'll have ~. がレストランで料理を注文する表現であることを理解し、使うことができる。
- ・Would you ~? がレストランで飲み物の注文の取り方であることを理解し、使うことができる。
- ・I'd like ~. がレストランで飲み物の注文をする表現であることを理解し、使うことができる。
- ・Anything else? がレストランで客からデザートなどの注文を取る表現であることを理解し、使うことができる。
- ・I'll have ~. , No. that's all. がレストランでデザートを注文したり、注文を断ったりする表現であることを理解し、使うことができる。

●Lesson 12

- ・待ち合わせの約束の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを理解し、使うことができる。
- ・一緒に何かをしようとたずねる表現を使うことができる。
- ・同意の表現を使うことができる。
- ・あいている日にちをたずねる表現を使うことができる。
- ・忙しくて都合が悪い旨を回答する表現を使うことができる。
- ・別な日にちを提案する表現を使うことができる。
- ・同意を表す回答の表現を使うことができる。
- ・待ち合わせ場所と時間をたずねる表現を使うことができる。
- ・待ち合わせ場所と時間を取り決める表現を知っている。

●Lesson 13

- ・なりたい職業をたずねる表現 What do you want to be ~? などを使うことができる。
- ・なりたい職業を答える表現 I want to be ~. などを使うことができる。
- ・理由をたずねる表現 Why? を使うことができる。
- ・理由を答える表現 Because ~. などを使うことができる。
- ・実現のために何をするかをたずねる表現 What are you ~ make your dream come true? などを使うことができる。
- ・実現のために何をするかを答える表現 I'm planning to ~. などを使うことができる。

2. 各課の観点別評価規準例

Lesson 1 New Friends

① 聞くこと

● 関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・初めて会った人と積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を示している。
- ・相手の発話に耳を傾け理解しようと努力する姿勢が見られる。

(コミュニケーションの継続)

- ・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。
- ・きかれた質問に対して、答えを準備したり、聞き返したり、間を置く表現を使ったりして適切に反応しようとしている。

● 理解の能力

(正確な聞き取り)

- ・ Which や What などではまる疑問文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。
- ・ Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。
- ・ LISTENING で使用されているクラブ名、出身地(出身校)、趣味に当たる英語をきいて内容を正しく理解できる。
- ・ Challenge!! (オプション) の ACTIVITIES(2)を聞いて、内容を正しく理解している。

(適切な聞き取り)

- ・ 出身地などはどこかをたずねる表現を聞いて、キーワード (be from など) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・ 出身地などを答える表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・ どのクラブに入りたいかをたずねる表現を聞いて、キーワード (which club, be going to join など) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・ 入りたいクラブを答える表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・ 趣味は何かをたずねる表現を聞いて、キーワード (be interested in など) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・ その人の趣味を答える表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。

● 知識・理解

(言語についての知識)

- ・ 疑問詞で始まる疑問文は、文尾を下げたイントネーションで発話することを知っている。
- ・ 出身地はどこかたずね、答える表現を知っている。
- ・ 入りたいクラブをたずね、答える表現の意味を知っている。
- ・ 趣味は何かをたずね、答える表現の意味を知っている。

(文化についての理解)

- ・ 相手の目をみて聞くことが大切であることを知っている。

② 対話すること

● 関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・ 自分に関する情報を相手に伝えようとする意思を示している。
- ・ 教科書 p.104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。

(コミュニケーションの継続)

- ・ 教科書 p.9 の SPEAKING 活動や p.10 の INTERVIEW 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

● 表現の能力

(正確な対話)

- ・ 疑問詞で始まる疑問文と Yes/No で答えられる疑問文の文尾のイントネーションの違いを正しく使い分けすることができる。
- ・ 初めて会ったクラスメートに出身地、入りたいクラブ、趣味などを正しい表現を使ってたずねることができる。

(適切な対話)

- ・ 出身地が同じであろうと思われるクラスメートには出身中学校、出身地がよくわからない人には出身地をたずねるなど、相手や場面によって適切な質問をすることができる。
- ・ SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を創造的に変えて表現することができる。

●理解の能力

(正確な対話)

- ・初対面での対話表現 (Key Expressions) を正確に理解している。

(適切な対話)

- ・自然な口調で話された初対面での質問や自己紹介の表現が正しく理解できる。
- ・聞かれたことに対して、素早く適切に自分のことを相手に知らせることができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・初対面での対話表現 (Key Expressions) に関する文法 (POINTS) とイントネーション (SOUNDS) を正確に理解している。

(文化についての理解)

- ・教科書 p.8 に掲載されているように、自分について質問されたら、肯定的に返答することが大切であることを理解している。
- ・初対面でたずねてよいこととよくないことを知っている。

③話すこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・教科書 p.9 の SPEAKING 活動や p.10 の INTERVIEW 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発話)

- ・疑問詞で始まる文の最後のイントネーションは下げて発話することができる。
- ・be from ~を使って出身地や出身校をたずねることができる。
- ・be from ~を使って出身地や出身校を答えることができる。
- ・be going to ~を使って、相手の入りたいクラブをたずねることができる。
- ・want to ~を使って、自分の入りたいクラブを表現することができる。
- ・interested in ~を使って、趣味 (興味あるもの) をたずねることができる。
- ・interested in ~を使って、趣味 (興味あるもの) を答えることができる。

(適切な発話)

- ・相手の目を見て話すことができる。
- ・大きな声ではっきりと発話することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・相手に関する情報を聞き出す場合は、疑問詞を使って質問することを知っている。
- ・疑問詞で始まる疑問文と Yes/No で答えられる疑問文の文尾のイントネーションが異なることを知っている。
- ・be going to が、近い未来や確実性の高い意志を表す表現であることを理解している。
- ・want to が「～したい」という意味に使えることを知っている。

(文化についての理解)

- ・発話の際には、相手の目を見ることが大切であることを理解している。
- ・大きな声ではっきりと発話することが大切であることを理解している。

④口頭で発表すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・間違えることを恐れず積極的に人前で発表している。
- ・教科書 p.10 の本文を何度も練習し、スムーズに発表できるように主体的に取り組んでいる。
- ・インタビューしたクラスメートの紹介を肯定的に伝えようとしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャーを用いて発表を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発表)

- ・be from, want to, be interested in の表現を用いて、クラスメートの出身地 (出身校)、入りたいクラブ、趣味をクラス全員に知らせることができる。
- ・教科書 p.11 の Challenge!! (オプション) での対話を役になったつもりでできるだけ正確な発音、イントネーション

ンを用いてスムーズに発表できる。

(適切な発表)

・クラス全体を見渡しなが、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

●**知識・理解**

(言語についての知識)

・普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。

・自己紹介、クラスメートの紹介をするときの表現を理解している。

(文化についての理解)

自己紹介や知り合いの紹介は、謙遜ではなく、肯定的な情報を伝えるべきであることを理解している。

Lesson 2 Free Time

①聞くこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・ 休日の過ごし方に関して積極的に相手から情報を得ようとする意欲を示している。
- ・ 相手の発話に耳を傾け理解しようと努力する姿勢が見られる。

(コミュニケーションの継続)

- ・ 「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。
- ・ きかれた質問に対して、答えを準備したり、聞き返したり、間を置く表現を使ったりして適切に反応しようとしている。

●理解の能力

(正確な聞き取り)

- ・ How や What で始まる疑問文を聞いて、休日の過ごし方に関する内容を正確に理解することができる。
- ・ Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。
- ・ LISTENING で使用されている休日の過ごし方の英語をきいて内容を正しく理解できる。
- ・ Challenge!! (オプション) の ACTIVITIES(2)を聞いて、内容を正しく理解している。

(適切な聞き取り)

- ・ 通常の休日の過ごし方をたずねる表現を聞いて、キーワード (How do you spend~?) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・ 通常の休日の過ごし方を答える表現を聞いて、キーワード (I usually play~.) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・ 過去の休日の過ごし方をたずねる表現を聞いて、キーワード (What did you do~?) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・ 過去の休日の過ごし方を答える表現を聞いて、キーワード (I played~.) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・ 休日の過ごし方の予定をたずねる表現を聞いて、キーワード (What are you going to do~?) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・ 休日の過ごし方の予定を答える表現を聞いて、キーワード (I'm going to~.) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・ tennis, weekend は、第1音節を強く発音することを知っている。
- ・ Saturday, usually は、第1音節を強く発音することを知っている。
- ・ 通常の休日の過ごし方をたずね、答える表現を知っている。
- ・ 過去の休日の過ごし方をたずね、答える表現の意味を知っている。
- ・ 休日の過ごし方の予定をたずね、答える表現の意味を知っている。

(文化についての理解)

- ・ How do you spend your free time?という表現は、趣味をたずねているのと同じであることを知っている。

②対話すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・ 休日の過ごし方を相手に伝えようとする意思を示している。
- ・ 教科書 p.104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。

(コミュニケーションの継続)

- ・ 教科書 p.15 の SPEAKING 活動や p.16 の INTERVIEW 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

(正確な対話)

- ・ 単語の発音の強弱を正しく使い分けることができる。
- ・ 休日の過ごし方を現在形、過去形、未来形 (be going to) など時制を正しく使い分けてたずね、答えることができる。

(適切な対話)

- ・ 通常の休日の過ごし方(趣味)をたずねたい場合、過去(先週など)の休日の過ごし方をたずねたい場合、休日の予定をたずねたい場合など、場面によって適切な質問をすることができる。
- ・ SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を創造的に変えて表現することができる。

●理解の能力

(正確な対話)

- ・休日の過ごし方に関する対話表現 (Key Expressions) を正確に理解している。

(適切な対話)

- ・自然な口調で話された休日に関する質問が正しく理解できる。
- ・きかれたことに対して、素早く適切に自分の休日の過ごし方を相手に知らせることができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・休日の過ごし方 (Key Expressions) に関する文法 (POINTS) と単語の発音の強弱 (SOUNDS) を正確に理解している。

(文化についての理解)

- ・教科書 p.15 に掲載されているように、How do you spend your free time? と質問されたら、趣味について返答すればよいことを理解している。
- ・趣味として「寝ること」「食べること」は対話表現としてふさわしくないことを知っている。

③話すこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・教科書 p.15 の SPEAKING 活動や p.16 の INTERVIEW 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発話)

- ・tennis, weekend は第 1 音節に、Saturday, usually は第 1 音節にストレスをおいて発音することができる。
- ・How do you spend ~? を使って通常の休日の過ごし方 (趣味) をたずねることができる。
- ・I usually (play) ~. を使って通常の休日の過ごし方 (趣味) を答えることができる。
- ・What did you do ~? を使って、過去の休日の過ごし方をたずねることができる。
- ・I (played) ~. を使って、過去の休日の過ごし方を表現することができる。
- ・What are you going to do ~? を使って、休日の過ごし方の予定をたずねることができる。
- ・I'm going to (see) ~. を使って、休日の過ごし方を答えることができる。
- ・現在形、過去形、未来形 (be going to ~) などの時制を正確に使い分けて発話することができる。

(適切な発話)

- ・相手の目を見て話すことができる。
- ・大きな声ではっきりと発話することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・通常の休日の過ごし方 (趣味) をたずねる場合は現在形、過去の休日の過ごし方をたずねる場合は過去形、休日の過ごし方の予定をたずねる場合は be going to ~? を使って質問することを知っている。
- ・通常の休日の過ごし方 (趣味) を答える場合は現在形、過去の休日の過ごし方を答える場合は過去形、休日の過ごし方の予定を答える場合は be going to ~? を使って応答することを知っている。
- ・過去形を表すときには、動詞の原型に -(e)d をつける (played など) ことを知っている。
- ・強制が第 1 音節にある単語、第 2 音節にある単語をいくつか知っている。

(文化についての理解)

- ・発話の際には、相手の目を見ることが大切であることを理解している。
- ・大きな声ではっきりと発話することが大切であることを理解している。

④口頭で発表すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・間違えることを恐れず積極的に人前で発表している。
- ・教科書 p. 16 の発表原稿を何度も練習し、スムーズに発表できるように主体的に取り組んでいる。
- ・インタビューしたクラスメートの休日の過ごし方を肯定的に伝えようとしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャーを用いて発表を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発表)

- she(he) usually (plays)~, she(he) (played), she(he) is going to~の表現を用いて、クラスメートの通常の休日の過ごし方(趣味)、過去の休日の過ごし方、休日の過ごし方の予定をクラス全員に知らせることができる。
- 教科書 p.17 の Challenge!! (オプション) での原稿を役になったつもりでできるだけ正確な発音、イントネーションを用いてスムーズに発表できる。

(適切な発表)

- クラス全体を見渡ししながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- 普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。
- 三人称単数現在形の場合は、動詞の原型に-(e)s をつける(plays など)ことを知っている。

(文化についての理解)

- 自分や知り合いの休日の過ごし方を紹介する場合は、謙遜ではなく、肯定的な情報を伝えるべきであることを理解している(「寝る」「食べる」「何もしない」などは避ける)。

Lesson 3 Are You Okay?

①聞くこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・相手の健康状態や、アドバイスに関して積極的に相手から情報を得ようとする意欲を示している。
- ・相手の発話に耳を傾け理解しようと努力する姿勢が見られる。

(コミュニケーションの継続)

- ・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。
- ・きかれた質問に対して、答えを準備したり、聞き返したり、間を置く表現を使ったりして適切に反応しようとしている。

●理解の能力

(正確な聞き取り)

- ・相手の健康状態をたずねたり答えたりする表現 Are you okay? I have a ~.などを使った文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。
- ・相手に健康に関するアドバイスをする表現 You should ~.などを使った文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。
- ・Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。
- ・LISTENING で使用されている番組の種類に当たる英語をきいて内容を正しく理解できる。
- ・Challenge!! (オプション) の ACTIVITIES(2)を聞いて、内容を正しく理解している。

(適切な聞き取り)

- ・あいさつの表現である How are you?を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・体調をたずねる表現を聞いて、キーワード (Are you okay?) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・体調を答える表現を聞いて、キーワード (I'm not feeling well. I have a ~. I feel ~.) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・相手の体調が悪いことを同情し、アドバイスをする表現を聞いて、キーワード (That's too bad. You should ~.) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・Are you ~?で始まる疑問文は、文尾を上げたイントネーションで発話することを知っている。
- ・体調についてたずね、答える表現を知っている。
- ・相手に体調についてアドバイスする表現の意味を知っている。

(文化についての理解)

- ・医師に対して症状を示す表現には、なじみのないものが多いことを知っている。

②対話すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・相手の健康状態や、アドバイスに関しての自分の情報を相手に伝えようとする意思を示している。
- ・教科書 p. 104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。

(コミュニケーションの継続)

- ・教科書 p.21 の SPEAKING 活動や p.22 の INTERVIEW 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

(正確な対話)

- ・疑問詞で始まる疑問文と Are you ~?で始まる疑問文の文尾のイントネーションの違いを正しく使い分けることができる。
- ・体調やアドバイスを、正しい表現を使ってたずね、答えることができる。

(適切な対話)

- ・相手の体調やアドバイスに積極的に関心を示し、対話を継続することができる。
- ・SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を創造的に変えて表現することができる。

●理解の能力

(正確な対話)

- ・体調についての対話表現 (Key Expressions) を正確に理解している。

(適切な対話)

- ・自然な口調で話された好きな事柄に関する質問や応答表現を正しく理解することができる。
- ・きかれたことに対して、素早く適切に自分の好きなもの (こと、人) を相手に知らせることができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・体調やアドバイスについての対話表現 (Key Expressions) に関する文法 (POINTS) とイントネーション (SOUNDS) を正確に理解している。

(文化についての理解)

- ・医師に対して症状を示す表現には、なじみのないものが多いことを知っている。

③話すこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・教科書 p.21 の SPEAKING 活動や p.22 の INTERVIEW 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発話)

- ・あいさつの表現である How are you? を、適切に発話することができる。
- ・体調をたずねる表現 Are you okay? 文の最後のイントネーションは上げて発話することができる。
- ・体調を答える表現 (I'm not feeling well. I have a ~. I feel ~.) を適切に発話することができる。
- ・相手の体調が悪いことを同情し、アドバイスをする表現 (That's too bad. You should ~.) を適切に発話することができる。

(適切な発話)

- ・相手の目を見て話すことができる。
- ・大きな声ではっきりと発話することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・should のあとには動詞の原形がきて、ひとになにかを提案することができることを理解している。
- ・need to、must も同様であることを知っている。
- ・I have ~. I feel ~. を使って自分の体調を言うことができることを知っている。
- ・疑問詞で始まる疑問文と Are you ~? で始まる疑問文の文尾のイントネーションが異なることを知っている。

(文化についての理解)

- ・発話の際には、相手の目を見ることが大切であることを理解している。
- ・大きな声ではっきりと発話することが大切であることを理解している。

④口頭で発表すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・間違ふことを恐れず積極的に人前で発表している。
- ・教科書 p. 23 のスキットを何度も練習し、スムーズに発表できるように主体的に取り組んでいる。

(コミュニケーションの継続)

- ・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャーを用いて発表を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発表)

- ・教科書 p.23 の Challenge!! (オプション) での原稿を役になったつもりでできるだけ正確な発音、イントネーションを用いてスムーズに発表できる。

(適切な発表)

- ・クラス全体を見渡しなが、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・ 普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。
- ・ 助動詞のあとでは、動詞が原型になることを知っている。

(文化についての理解)

- ・ 文化によっては、体調をできるだけ良く言う傾向があることを理解している。

Lesson 4 Our School

①聞くこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・相手の通学する(出身)学校に関して積極的に相手から情報を得ようとする意欲を示している。
 - ・相手の発話に耳を傾け理解しようと努力する姿勢が見られる。
- (コミュニケーションの継続)
- ・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。
 - ・きかれた質問に対して、答えを準備したり、聞き返したり、間を置く表現を使ったりして適切に反応しようとしている。

●理解の能力

(正確な聞き取り)

- ・学校に関する事柄をたずねたり答えたりする表現、How big～?, Is there something famous～?, When is～?, There are～, It's on～.を使った文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。
- ・Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。
- ・LISTENING で使用されているクラブや行事に当たる英語をきいて内容を正しく理解できる。
- ・Challenge!! (オプション) の ACTIVITIES(2)を聞いて、内容を正しく理解している。
- ・発音の強弱に注意しながら意味を聞き分けることができる。

(適切な聞き取り)

- ・学校の大きさをたずねる表現を聞いて、キーワード(How big～?)を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・学校の大きさを答える表現を聞いて、キーワード(There are～.)を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・学校の特徴(有名なもの、こと)をたずねる表現を聞いて、キーワード(Is there something famous～?)を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・学校の特徴(有名なもの、こと)を答える表現を聞いて、キーワード(～is famous.)を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・行事日程をたずねる表現を聞いて、キーワード(When is～?)を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・行事日程を答える表現を聞いて、キーワード(It's on～.)を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・教科書 p.27 の SOUNDS で示されているように、文の中で強く発音された単語は、その文の意味を理解するのに重要であることを知っている。
- ・学校の大きさをたずね、答える表現を知っている。
- ・学校の特徴(有名なもの、こと)をたずね、答える表現の意味を知っている。
- ・行事日程をたずね、答える表現の意味を知っている。

(文化についての理解)

- ・教科書 p.29 に掲載されているように、欧米人は自分のことや家族、学校を控えめに言うのではなく、よい面を積極的にアピールすることがよくあることを知っている。

②対話すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・自分が通学する学校について相手に伝えようとする意思を示している。
- ・教科書 p.104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。

(コミュニケーションの継続)

- ・教科書 p.30 の SPEAKING 活動や p.31 の INTERVIEW 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

(正確な対話)

- ・学校の大きさ、特徴(有名なもの、こと)、行事日程について、正しい表現を使ってたずねたり、答えたりすることができる。

(適切な対話)

- ・相手の学校に関して積極的に関心を示し、質問し、自分の学校について話したりしながら対話を継続することができる。
- ・SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を創造的に変えて表現することができる。

●理解の能力

(正確な対話)

- ・学校に関する対話表現 (Key Expressions) を正確に理解している。

(適切な対話)

- ・自然な口調で話された好きな事柄に関する質問や応答表現を正しく理解することができる。
- ・聞かれたことに対して、素早く適切に自分の学校についての情報を相手に知らせることができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・学校についての対話表現 (Key Expressions) に関する文法 (POINTS) と発音の強弱 (SOUNDS) を正確に理解している。
- ・教科書 p.29 に掲載されているように、I'm proud of~が「誇りに思っている」という意味で、自分のことや家族、学校のよい面をアピールするのによく使われることを知っている。

(文化についての理解)

- ・教科書 p.29 に掲載されているように、自分のことや家族、学校を控えめに言うのではなく、よい面を積極的にアピールすることが大切であることを理解している。

③話すこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・教科書 p.30 の SPEAKING 活動や p.31 の INTERVIEW 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発話)

- ・教科書 p.27 の SOUNDS にあるように、発音の強弱に注意しながら文を発話することができる。
- ・How big ~? を使って相手の学校の大きさをたずねることができる。
- ・There are ~. を使って自分の学校の大きさを答えることができる。
- ・Is there something famous ~? を使って、相手の学校の特徴 (有名なもの、こと) をたずねることができる。
- ・~is famous. を使って、自分の学校の特徴 (有名なもの、こと) を表現することができる。
- ・When is ~? を使って、行事の日程をたずねることができる。
- ・It's on ~. を使って、行事の日程を答えることができる。

(適切な発話)

- ・相手の目を見て話すことができる。
- ・大きな声ではっきりと発話することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・There is ~. (単数) There are ~. (複数) を使って「~があります」という意味になることを知っている。
- ・something を修飾する形容詞は、something の後にくる (something famous など) ことを知っている。
- ・How big ~? を使って大きさをたずねることができるのを知っている。
- ・When is ~? を使って日程をたずねることができるのを知っている。

(文化についての理解)

- ・発話の際には、自分のことや家族、学校のよい面を積極的にアピールするのが大切であることを理解している。
- ・発話の際には、相手の目を見ることが大切であることを理解している。
- ・大きな声ではっきりと発話することが大切であることを理解している。

④口頭で発表すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・間違ふことを恐れず積極的に人前で発表している。
- ・教科書 p. 31 の発表原稿を何度も練習し、スムーズに発表できるように主体的に取り組んでいる。
- ・インタビューしたクラスメートの架空の学校について積極的に皆に伝えようとしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャーを用いて発表を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発表)

- there are～, ～is famous, on～の表現を用いて、クラスメートの架空の学校についての情報をクラス全員に知らせることができる。
- 教科書 p.32 の Challenge!! (オプション) での原稿を役になったつもりでできるだけ正確な発音、イントネーションを用いてスムーズに発表できる。

(適切な発表)

- クラス全体を見渡ししながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- 普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。

Lesson 5 Weather

①聞くこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・天気や気候をたずね、答える相手と積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を示している。
- ・相手の発話に耳を傾け理解しようと努力する姿勢が見られる。

(コミュニケーションの継続)

- ・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。
- ・きかれた質問に対して、答えを準備したり、聞き返したり、間を置く表現を使ったりして適切に反応しようとしている。

●理解の能力

(正確な聞き取り)

- ・How, What など始まる疑問文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。
- ・Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。
- ・LISTENING で使用されている天気や気候の表現をきいて内容を正しく理解できる。

(適切な聞き取り)

- ・How is the weather in ~ today? を使った今日の天気をたずねる表現を聞いて、相手が聞きたいところの場所を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・It's ~ を使った今日の天気を答える表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・What is the weather forecast for tomorrow in ~? 明日の天気予報をたずねる表現を聞いて、相手が聞きたいところの場所を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・It will be ~ を使った明日の天気予報を答える表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・How is the climate in ~ in this season? 今の季節の気候をたずねる表現を聞いて、相手が聞きたいところの場所を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・It's usually ~ を使った今の季節の気候を答える表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・dry, rainy, windy, cool, humid, wet, stormy, snowy という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・天気予報の表現で、文の区切りに注意するところを知っている。
- ・今日の天気をたずねる表現を知っている。
- ・今日の天気を答える表現を知っている。
- ・明日の天気予報をたずねる表現を知っている。
- ・明日の天気予報を答える表現を知っている。
- ・今の季節の気候をたずねる表現を知っている。
- ・今の季節の気候を答える表現を知っている。

(文化についての理解)

- ・日本人と同じように、イギリス人やアメリカ人もよく天気あいさつから会話を始めることを知っている。

②対話すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・天気・気候などに関する情報を相手に伝えようとする意思を示している。
- ・教科書 p.104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。

(コミュニケーションの継続)

- ・教科書 p. 36 の SPEAKING 活動や pp. 37~38 の PAIR WORK 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。
- ・旅行のときなどに、ある場所の天気や天気予報、気候などを正しい表現を使ってたずね、答えることができる。

●表現の能力

(正確な対話)

- ・What is the weather forecast for tomorrow ~? の疑問文と It will be cloudy ~. で始まる未来形を用いた天気予報の表現で、文の区切りに注意して言うことができる。

(適切な対話)

- ・ある場所の天気や気候によって、sunny, cloudy, rainy, snowy, windy などの天気の表現を使い分けたり、hot, cool, dry, cold, humid などの気候を示す表現を使ったりするなど、場面によって適切な対話を行うことができる。

る。

- ・SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を変えて表現することができる。

●理解の能力

(正確な対話)

- ・天気・気候の対話表現 (Key Expressions) を正確に理解している。

(適切な対話)

- ・自然な口調で話された天気や気候の質問や答えの表現が正しく理解できる。
- ・きかれたことに対して、素早く適切に相手に知らせることができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・天気と気候の対話表現 (Key Expressions) に関する文法 (POINTS) とイントネーション (SOUNDS) を正確に理解している。

(文化についての理解)

- ・教科書 p. 35 に掲載されているごとく、イギリス人やアメリカ人も日本人と同じようによく天気の違いから会話を始めることを知っている。

③話すこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・教科書 p. 36 の SPEAKING 活動や pp. 37~38 の PAIR WORK 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発話)

- ・What is the weather forecast for tomorrow ~? の疑問文と、It will be cloudy ~. で始まる未来形を用いた天気予報の表現で、文の区切りに注意して正しく発音することができる。
- ・How, What など始まる疑問文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。
- ・Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。
- ・LISTENING で使用されている天気や気候の表現をきいて内容を正しく理解できる。
- ・How を使って今日の天気をたずねることができる。
- ・It's ~. を使って今日の天気を答えることができる。
- ・What を使って明日の天気予報をたずねることができる。
- ・It will be ~. を使って明日の天気予報を答えることができる。
- ・How を使って今の季節の気候をたずねることができる。
- ・It's usually ~. を使って今の季節の気候を答えることができる。
- ・Sunny, cloudy, rainy, snowy, windy という表現で適切に天気の状態がわかる。
- ・hot, cool, dry, cold, humid という表現で適切に気候の状態がわかる。

(適切な発話)

- ・相手の目を見て話すことができる。
- ・大きな声ではっきりと発話することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・天気予報に関する情報を聞き出す場合は、疑問詞などを使って質問することを知っている。
- ・天気予報を言う場合には、主に未来形を用いることを知っている。
- ・How が天気や気候などの状態をたずねる表現であることを知っている。
- ・What がある場所の未来のある時に関する天気予報をたずねる表現であることを知っている。
- ・助動詞 will が <will+動詞の原型> で、これからの予定や未来のことについて言うことを知っている。
- ・また、天気・気候を表すときには it を主語にすることを知っている。
- ・天気予報をたずね、答える表現では、文の区切りがどこにおかれるか理解している。
- ・発話の際には、相手の目を見ることが大切であることを理解している。

(文化についての理解)

- ・教科書 p. 35 に掲載されているごとく、イギリス人やアメリカ人も日本人と同じようによく天気の違いから会話を始めることを知っている。

④口頭で発表すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・間違ふことを恐れず積極的に人前で発表している。
- ・教科書 pp. 37~38 の活動を十分に練習し、スムーズに発表できるように主体的に取り組んでいる。
- ・天気・気候を、正しくわかりやすく伝えようとしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャーを用いて発表を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発表)

- ・このレッスンで学習した天気・気候の表現を用いて、指定された場所と日にちの天気や気候たずね方、答え方をクラス全員に示すことができる。

(適切な発表)

- ・クラス全体を見渡しながらか、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。
- ・天気とその予報、気候の表現を知っている。
- ・自己紹介、クラスメートの紹介をするときの表現を理解している。

(文化についての理解)

- ・イギリス人やアメリカ人も日本人と同じようによく天気あいさつから会話を始めることを知っている。

Lesson 6 TV Programs

① 聞くこと

● 関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・好きなテレビ番組に関して積極的に相手から情報を得ようとする意欲を示している。
 - ・相手の発話に耳を傾け理解しようと努力する姿勢が見られる。
- (コミュニケーションの継続)
- ・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。
 - ・きかれた質問に対して、答えを準備したり、聞き返したり、間を置く表現を使ったりして適切に反応しようとしている。

● 理解の能力

(正確な聞き取り)

- ・好きな事柄をたずねたり答えたりする表現、Do you like～?, What kind of～do you like?, Who is your favorite～?, I like～.を使った文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。
- ・Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。
- ・LISTENING で使用されている番組の種類に当たる英語をきいて内容を正しく理解できる。
- ・Challenge!! (オプション) の ACTIVITIES(2)を聞いて、内容を正しく理解している。

(適切な聞き取り)

- ・好きかどうかをたずねる表現を聞いて、キーワード (Do you like～?) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・好きかどうかを答える表現を聞いて、キーワード (Yes, very much./No, not so much.) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・どんな種類のものが好きかをたずねる表現を聞いて、キーワード (What kind of～do you like?) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・どんな種類のものが好きかを答える表現を聞いて、キーワード (I like～.) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・気に入っている人 (もの) をたずねる表現を聞いて、キーワード (Who(What) is your favorite～?) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・気に入っている人 (もの) を答える表現を聞いて、キーワード (I like～.) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。

● 知識・理解

(言語についての知識)

- ・Do you～?で始まる疑問文は、文尾を上げたイントネーションで発話することを知っている。
- ・あるもの (こと、人) が好きかどうかをたずね、答える表現を知っている。
- ・好きなもの (こと) の種類をたずね、答える表現の意味を知っている。
- ・気に入っている人 (もの、こと) は何かをたずね、答える表現の意味を知っている。

(文化についての理解)

- ・ユーモアが緊張をほぐす場面でよく使われることを知っている。

② 対話すること

● 関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・好きな番組について自分の情報を相手に伝えようとする意思を示している。
- ・教科書 p.104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。

(コミュニケーションの継続)

- ・教科書 p.43 の SPEAKING 活動や p.44 の INTERVIEW 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

● 表現の能力

(正確な対話)

- ・疑問詞で始まる疑問文と Do you～?で始まる疑問文の文尾のイントネーションの違いを正しく使い分けることができる。
- ・好きなもの (こと、人) について、正しい表現を使ってたずね、答えることができる。

(適切な対話)

- ・相手の好きなもの (こと、人) に積極的に関心を示し、対話を継続することができる。
- ・SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を創造的に変えて表現することができる。

● 理解の能力

(正確な対話)

- ・好きな事柄の対話表現 (Key Expressions) を正確に理解している。

(適切な対話)

- ・自然な口調で話された好きな事柄に関する質問や応答表現を正しく理解することができる。
- ・聞かれたことに対して、素早く適切に自分の好きなもの (こと、人) を相手に知らせることができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・好きなもの (こと、人) についての対話表現 (Key Expressions) に関する文法 (POINTS) とイントネーション (SOUNDS) を正確に理解している。

(文化についての理解)

- ・教科書 p. 42 に掲載されているように、対話の中で緊張をほぐすためにユーモアが大切であることを理解している。

③話すこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・教科書 p.43 の SPEAKING 活動や p.44 の INTERVIEW 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発話)

- ・Do you ~? で始まる文の最後のイントネーションは上げて発話することができる。
- ・Do you like ~? を使って相手の好きなもの (こと、人) をたずねることができる。
- ・Yes, very much./No, not so much. を使ってたずねられたもの (こと、人) の好き嫌いを答えることができる。
- ・What kind of ~? を使って、相手の好きなもの (こと、人) の種類をたずねることができる。
- ・I like ~ を使って、自分の好きなもの (こと、人) の種類を表現することができる。
- ・Who(What) is your favorite ~? を使って、相手の気に入っている人 (こと、もの) をたずねることができる。
- ・I like ~ を使って、気に入っている人 (こと、もの) を答えることができる。

(適切な発話)

- ・相手の目を見て話すことができる。
- ・大きな声ではっきりと発話することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・Do you like watching TV? のように動詞に-ing をつけると名詞の働きになり、主語や目的語として使えることを知理解している。
- ・What kind of ~? を使って種類をたずねることができることを知っている。
- ・Who(What) is your favorite ~? を使って相手の気に入っている人 (こと、もの) をたずねることができることを知っている。
- ・疑問詞で始まる疑問文と Do you ~? で始まる疑問文の文尾のイントネーションが異なることを知っている。

(文化についての理解)

- ・発話の際には、緊張をほぐすためにユーモアを入れることが大切であることを理解している。
- ・発話の際には、相手の目を見ることが大切であることを理解している。
- ・大きな声ではっきりと発話することが大切であることを理解している。

④口頭で発表すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・間違えることを恐れず積極的に人前で発表している。
- ・教科書 p. 44 の発表原稿を何度も練習し、スムーズに発表できるように主体的に取り組んでいる。
- ・インタビューしたクラスメートの好きなもの (こと、人) を肯定的に伝えようとしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャー用いて発表を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発表)

- ・she(he) likes (watching) ~ または she(he) doesn't like (watching) ~, her(his) favorite ~ の表現を用いて、クラスメートの好きなもの (こと、人) をクラス全員に知らせることができる。
- ・教科書 p. 45 の Challenge!! (オプション) での原稿を役になったつもりでできるだけ正確な発音、イントネーションを用いてスムーズに発表できる。

(適切な発表)

- ・ クラス全体を見渡ししながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・ 普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。
- ・ 三人称単数現在形の場合は、動詞の原型に-(e)s をつける(likes など)ことを知っている。

(文化についての理解)

- ・ 自分や知り合いの好きなもの（こと、人）を紹介する場合は、謙遜ではなく、肯定的な情報を伝えるべきであることを理解している。

Lesson 7 Talking on a Cell Phone

①聞くこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・電話をかけ、答える相手と積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を示している。
- (コミュニケーションの継続)
- ・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。
- ・きかれた質問に対して、答えを準備したり、聞き返したり、間を置く表現を使ったりして適切に反応しようとしている。

●理解の能力

(正確な聞き取り)

- ・Can, Where, Will ~? などではまる疑問文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。
- ・Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。
- ・LISTENING で使用されている電話の受け答えの表現をきいて内容を正しく理解できる。
- ・Challenge!! (オプション) の ACTIVITIES(2)を聞いて、内容を正しく理解している。
- (適切な聞き取り)
- ・Hi, という表現を聞いて、適切に反応することができる。
- ・Can I~?を使った、相手がいま話せるかたずねる表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・Sorry, ~. 使った「話せない」という回答とその理由を言う表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・Will you ~? を使った相手が時間通りに来られるかをたずねる表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・時間通りに来られる、または遅れるという表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・相手が email を読んだかどうかたずねる完了形を使った表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・email を読んだかどうかを答える完了形を使った表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・getting on, miss a good scene, cooking dinner, eating, call you back, call me again, email you later, turn off my cell phone という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・電話の表現で、強く発音するところやイントネーションを知っている。
- ・Can I ~?相手がいま話せるかたずねる表現を知っている。
- ・Sorry, ~. を使った「話せない」という回答とその理由を言う表現を知っている。
- ・Will you ~?を使った相手が時間通りに来られるかをたずねる表現を知っている。
- ・時間通りに来られる、または遅れるという表現を知っている。
- ・相手が email を読んだかどうかたずねる完了形を使った表現を知っている。
- ・email を読んだかどうかを答える完了形を使った表現を知っている。

(文化についての理解)

- ・携帯電話を使うときは、マナーが重要であることを知っている。
- ・「私です」と答えるときには This is ~speaking. と言うことを知っている。
- ・国によっては公共の場所で電源を切る条例があることを知っている。

②対話すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・電話に関する情報を相手に伝えようとする意思を示している。
- ・教科書 p. 104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。

(コミュニケーションの継続)

- ・教科書 p.52 の SPEAKING 活動や p.53 の ROLE PLAY 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

(正確な対話)

- ・Have you read my email?という疑問文と、Yes, I have.の表現で、強く発音するところやイントネーションを正しく発音することができる。
- ・電話をかけ、相手が今話せるかたずね、また待ち合わせの時間に来られるか、email を読んだかなどを正しい表現

を使ってたずね、答えることができる。

(適切な対話)

- 自分の状態によって、miss a good scene や cooking dinner など話せない理由を示す表現を使い分けたり、call you back、call me again、email you later などの今後の行動を示す表現を使ったりするなど、場面によって適切な電話の応対をすることができる。
- SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を変えて表現することができる。

●理解の能力、

(正確な対話)

- 携帯電話での対話表現 (Key Expressions) を正確に理解している。

(適切な対話)

- 自然な口調で話された電話での会話表現が正しく理解できる。
- 聞かれたことに対して、素早く適切に必要なことを相手に知らせることができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

携帯電話での対話表現 (Key Expressions) に関する文法 (POINTS) とイントネーション (SOUNDS) を正確に理解している。

- 「既に～した」などの表現には完了形を用いることを知っている。

③話すこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- 教科書 p. 52 の SPEAKING 活動や p. 53 の ROLE PLAY 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。

(コミュニケーションの継続)

- うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発話)

- Hi, という表現を使って、適切に話すことができる。
- Can I ~? を使った相手がいま話せるかたずねる表現を使うことができる。
- Sorry, ~. を使った「話せない」という回答とその理由を言う表現を使うことができる。
- Will you ~? を使った相手が時間通りに来られるかをたずねる表現を使うことができる。
- 時間通りに来られる、または遅れるという表現を使うことができる。
- 相手が email を読んだかどうかたずねる完了形を使った表現を使うことができる。
- email を読んだかどうかを答える完了形を使った表現を使うことができる。
- getting on, miss a good scene, cooking dinner, eating, call you back, call me again, email you later, turn off my cell phone という表現を使うことができる。

(適切な発話)

- 大きな声ではっきりと発話することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- 電話の表現で、強く発音するところやイントネーションを知っている。
- Can I ~? を使った相手がいま話せるかたずねる表現を知っている。
- Sorry, ~. を使った「話せない」という回答とその理由を言う表現を知っている。
- Will you ~? を使った相手が時間通りに来られるかをたずねる表現を知っている。
- 時間通りに来られる、または遅れるという表現を知っている。
- 相手が email を読んだかどうかたずねる完了形を使った表現を知っている。
- email を読んだかどうかを答える完了形を使った表現を知っている。

(文化についての理解)

- 大きな声ではっきりと発話することが大切であることを理解している。

④口頭で発表すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- 間違えることを恐れず積極的に人前で発表している。

- ・教科書 p.53 の活動を十分に練習し、スムーズに発表できるように主体的に取り組んでいる。
- ・電話の応答の表現を、正しくわかりやすく伝えようとしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャーを用いて発表を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発表)

- ・このレッスンで学習した携帯電話の表現を用いて、相手が話せるかどうかや、待ち合わせに間に合うか、eメールを読んだかのたずね方、答え方をクラス全員に示すことができる。

(適切な発表)

- ・クラス全体を見渡しながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。

(文化についての理解)

- ・大きな声ではっきりと発話することが大切であることを理解している。

Lesson 8 Telling the Way

①聞くこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・道をたずね、答える相手と積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を示している。
- ・知らない相手に Excuse me. とていねいに話をしようとしている。
- ・相手の発話に耳を傾け理解しようと努力する姿勢が見られる。
- ・道案内を聞く時、聞いた内容を地図上でも理解しようとしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。
- ・きかれた質問に対して、答えを準備したり、聞き返したり、間を置く表現を使ったりして適切に反応しようとしている。

●理解の能力

(正確な聞き取り)

- ・ Where、Could など始まる疑問文や命令文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。
- ・ Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。
- ・ LISTENING で使用されている道案内の表現をきいて内容を正しく理解できる。

(適切な聞き取り)

- ・ Excuse me. という表現を聞いて、適切に反応することができる。
- ・ Where を使った、道をたずねる表現を聞いて、相手が行きたいところの名前を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・ Could you tell me the way to ~? を使った道をたずねる表現を聞いて、相手が行きたいところの名前を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・ まっすぐ行く go straight、北へ行く go north、沿っていく go along などという表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・ 右に曲がる turn right、左に曲がる turn left という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・ ブロックの端にある at the end of the block、1ブロック行く go one block などの block を使った表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・ 橋を渡る cross the bridge という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・ 交差点にある on the corner of ~ and ~ という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・ on your right、on your left、next to ~ という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・ 道案内の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを知っている。
- ・ 知らない人に話しかけるとき Excuse me. という表現を知っている。
- ・ Where や、Could you tell me the way to ~? で道をたずねる表現を知っている。
- ・ go straight、turn など、道を言う表現の意味を知っている。
- ・ on your right、next to ~、on the corner of ~ など、場所を言う表現の意味を知っている。

(文化についての理解)

- ・ ていねいに話しかけるとき Excuse me. ということを知っている。

②対話すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・ 道順などに関する情報を相手に伝えようとする意思を示している。
- ・ 教科書 p.104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。

(コミュニケーションの継続)

- ・ 教科書 p.58 の SPEAKING 活動や pp.59~60 の PAIR WORK 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

(正確な対話)

- ・ Could you tell me the way to ~? の疑問文と、Go で始まる命令文を用いた道案内の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。
- ・ 初めて会う人などに、あるところへの行き方を正しい表現を使ってたずね、答えることができる。

(適切な対話)

- ・ 行く先の道によって、go straight や turn、cross the bridge などの道案内の表現を使い分けたり、on your left、next to ~、on the corner of ~ などの位置を示す表現を使ったりするなど、場面によって適切な道案内をすることができる。
- ・ SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を変えて表現することができる。

●理解の能力

(正確な対話)

- ・道案内での対話表現 (Key Expressions) を正確に理解している。

(適切な対話)

- ・自然な口調で話された道案内での質問や道を教える表現が正しく理解できる。
- ・きかれたことに対して、素早く適切に自分のことを相手に知らせることができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・道案内での対話表現 (Key Expressions) に関する文法 (POINTS) とイントネーション (SOUNDS) を正確に理解している。

(文化についての理解)

- ・教科書 p. 57 に掲載されているように、アメリカなどの大都市の block のことを知っている。
- ・知らない人には、Excuse me. から始めて、Could you ~? とていねいにたずねることを知っている。

③話すこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・教科書 p.58 の SPEAKING 活動や pp.59~60 の PAIR WORK 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発話)

- ・Could you tell me the way to ~? の疑問文と、Go で始まる命令文を用いた道案内の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。
- ・Excuse me. と知らない人にていねいに話しかける表現を使うことができる。
- ・Where を使って、自分が行きたいところへの道をたずねることができる。
- ・Could you tell me the way to ~? を使って、自分が行きたいところへの道をたずねることができる。
- ・まっすぐ行く go straight、北へ行く go north、沿っていく go along などという表現で適切に道案内することができる。
- ・右に曲がる turn right、左に曲がる turn left という表現で適切に道案内することができる。
- ・ブロックの端にある at the end of the block、1 ブロック行く go one block などの block を使った表現で適切に道案内することができる。
- ・橋を渡る cross the bridge という表現で適切に道案内することができる。
- ・交差点にある on the corner of ~ and ~ という表現で適切に道案内することができる。
- ・on your right、on your left、next to ~ という表現で適切に道案内することができる。

(適切な発話)

- ・相手の目を見て話すことができる。
- ・大きな声ではっきりと発話することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・道順に関する情報を聞き出す場合は、疑問詞などを使って質問することを知っている。
- ・道順を言う場合には、主に命令文を用いることを知っている。
- ・Where が場所をたずねる表現であることを知っている。
- ・Could you ~? がていねいな表現であることを知っている。
- ・動詞 tell が <SVOO> の文型をとることを知っている。
- ・道をたずね、答える表現では、どのような語句が強く発音されるか理解している。

(文化についての理解)

- ・発話の際には、相手の目を見ることが大切であることを理解している。
- ・大きな声ではっきりと発話することが大切であることを理解している。

④口頭で発表すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・間違ふことを恐れず積極的に人前で発表している。
- ・教科書 pp. 59~60 の活動を十分に練習し、スムーズに発表できるように主体的に取り組んでいる。
- ・道案内を、正しくわかりやすく伝えようとしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャーを用いて発表を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発表)

- ・このレッスンで学習した道案内の表現を用いて、指定された場所への行き方のたずね方、答え方をクラス全員に示すことができる。

(適切な発表)

- ・クラス全体を見渡ししながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。
- ・自己紹介、クラスメートの紹介をするときの表現を理解している。

(文化についての理解)

③話すことと同じ

Lesson 9 Kyoto

①聞くこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・京都の名所への行き方をたずね、答える相手と積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を示している。
- ・知らない相手に Excuse me. とていねいに話をしようとしている。
- ・相手の発話に耳を傾け理解しようと努力する姿勢が見られる。
- ・道案内を聞く時、聞いた内容を地図上でも理解しようとしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。
- ・きかれた質問に対して、答えを準備したり、聞き返したり、間を置く表現を使ったりして適切に反応しようとしている。

●理解の能力

(正確な聞き取り)

- ・How, Where, など始まる疑問文や命令文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。
- ・Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。
- ・LISTENING で使用されている名所への行き方の表現をきいて内容を正しく理解できる。

(適切な聞き取り)

- ・Excuse me. という表現を聞いて、適切に反応することができる。
- ・How を使った名所への行き方をたずねる表現を聞いて、相手が行きたいところの名前を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・Where を使った名所への行き方をたずねる表現を聞いて、相手が行きたいところの名前を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・地下鉄に乗り Take the subway ~、次に別な乗り物に乗り換える then change to ~. などという表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・乗り換え Change at ~. という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・いくつめ How many stops ~? を使った表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・いくつ目でおりる Get off at ~. という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・どのくらい時間がかかる How long does it take form here? という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・～分ぐらいかかる It takes about ~ という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・take, subway, change, shrine, get off, the next stop, the third stop, City bus という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・行き方の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを知っている。
- ・知らない人に話しかけるとき Excuse me. という表現を知っている。
- ・目的地までの行き方と答え方をたずねる表現を知っている。
- ・乗りかえる駅のたずね方と答え方の表現をしっている。
- ・下車駅がいくつめかのたずね方と答え方の表現を知っている。
- ・目的地までの乗車時間のたずね方と答え方の表現を知っている。

(文化についての理解)

- ・ていねいに話しかけるとき Excuse me. とすることを知っている。
- ・道をきかれてわからない場合の答え方を知っている。

②対話すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・京都の名所に関する情報を相手に伝えようとする意思を示している。
- ・教科書 p.104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。

(コミュニケーションの継続)

- ・教科書 p.67 の SPEAKING 活動や p.68~71 の PAIR WORK 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

(正確な対話)

- ・How many stops is it from ~? の疑問文と、Get off ~. で始まる命令文を用いた名所までの乗り物案内の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。
- ・初めて会う人などに、あるところへの行き方を正しい表現を使ってたずね、答えることができる。

(適切な対話)

- ・行く先によって、take the subway ~ Line. や change to ~, change at ~ station. のように、交通機関の利用や乗り換えなどの乗り物案内の表現を使い分けたり、get off at ~, It takes about ~. などの下車駅や乗車時間を示す表現を使ったりするなど、場面によって適切な名所への乗り物案内をすることができる。
- ・SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を変えて表現することができる。

●理解の能力

(正確な対話)

- ・初対面での対話表現 (Key Expressions) を正確に理解している。

(適切な対話)

- ・自然な口調で話された初対面での質問や乗り物案内の表現が正しく理解できる。
- ・きかれたことに対して、素早く適切に必要な情報を相手に知らせることができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・乗り物案内での対話表現 (Key Expressions) に関する文法 (POINTS) とイントネーション (SOUNDS) を正確に理解している。

(文化についての理解)

- ・教科書 p. 66 に掲載されているように、道を聞かれても分からない場合、I'm a stranger here myself. の好ましい答え方を知っている。

③話すこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・教科書 p. 67 の SPEAKING 活動や pp. 68~71 の PAIR WORK 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発話)

- ・How many stops is it from ~? の疑問文と、Get off ~. で始まる命令文を用いた名所までの乗り物案内の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。
- ・Excuse me. と知らない人にていねいに話しかける表現を使うことができる。
- ・Excuse me. という表現を聞いて、適切に反応することができる。
- ・How を使って自分が行きたい名所への行き方をたずねることができる。
- ・Where を使って自分が乗り換える駅をたずねることができる。
- ・How を使って自分がいくつめでおりにかたずねることができる。
- ・How を使ってどのくらい時間がかかるかたずねることができる。
- ・地下鉄に乗り Take the subway ~、次に別な乗り物に乗り換える then change to ~ などという表現で適切に乗り物案内をすることができる。
- ・乗り換え Change at ~. の表現で適切に乗り物案内をすることができる。
- ・~分ぐらにかかる It takes about ~. という表現で適切に乗り物案内をすることができる。
- ・take, subway, change, shrine, get off, the next stop, the third stop, City bus という表現で適切に乗り物案内をすることができる。

(適切な発話)

- ・相手の目を見て話すことができる。
- ・大きな声ではっきりと発話することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・乗り物に関する情報を聞き出す場合は、疑問詞などを使って質問することを知っている。
- ・乗り物案内を言う場合には、主に命令文を用いることを知っている。
- ・How が目的地までの行き方、いくつめ、乗車時間などをたずねる表現であることを知っている。
- ・所要時間をたずねる時、How long ~? ではじめることを知っている。
- ・Where が乗り換え場所をたずねる表現であることを知っている。
- ・乗り物案内でいくつめをたずね、答える表現では、どのような語句が強く発音されるか理解している。

(文化についての理解)

- ・発話の際には、相手の目を見ることが大切であることを理解している。
- ・大きな声ではっきりと発話することが大切であることを理解している。

④口頭で発表すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・間違ふことを恐れず積極的に人前で発表している。
- ・教科書 pp. 68~71 の活動を十分に練習し、スムーズに発表できるように主体的に取り組んでいる。
- ・乗り物案内を、正しくわかりやすく伝えようとしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャーを用いて発表を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発表)

- ・このレッスンで学習した乗り物案内の表現を用いて、指定された場所への行き方のたずね方、答え方をクラス全員に示すことができる。

(適切な発表)

- ・クラス全体を見渡ししながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。
- ・自己紹介、クラスメートの紹介をするときの表現を理解している。

(文化についての理解)

- ・発話の際には、相手の目を見ることが大切であることを理解している。
- ・大きな声ではっきりと発話することが大切であることを理解している。

Lesson 10 Shopping

①聞くこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・買い物をするとき、答える相手と積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を示している。

(コミュニケーションの継続)

- ・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。
- ・きかれた質問に対して、答えを準備したり、聞き返したり、間を置く表現を使ったりして適切に反応しようとしている。

●理解の能力

(正確な聞き取り)

- ・May, What, Howなどで始まる疑問文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。
- ・Checkで聞いた質問の意味を正しく理解している。
- ・LISTENINGで使用されている買い物案の表現をきいて内容を正しく理解できる。

(適切な聞き取り)

- ・May I help you? という表現を聞いて、適切に反応することができる。
- ・Whatを使ったサイズをたずねる表現を聞いて、相手が買いたいものの名前を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・How about this ~ one?を使った商品をすすめる表現を聞いて、相手が求めるものの名前を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・How much ~?という値段をたずねる表現を聞いて、相手が求めるものの値段を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・It's too expensive. Please show me another one.と言う別な商品の提示を求める表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・「～しているところです」I am looking ~.という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・「Mサイズをお願いします」Medium, please.という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・「～に見える」It looks ~.「それを買います」I'll take it.という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・「見せてください」Show me.という表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・買い物の表現で、強く発音するところ、イントネーションに注意するところを知っている。
- ・客に最初に挨拶する表現を知っている。
- ・欲しいものを伝える表現を知っている。
- ・欲しいサイズを伝える表現を知っている。
- ・欲しい色を伝える表現を知っている。
- ・値段に関する表現を知っている。
- ・別の安い物を見せてもらったり、進めたりする表現を知っている。

(文化についての理解)

- ・海外で買い物をするとき地域や場所によっては店員と交渉しながら値段を決める場合があることを知っている。

②対話すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・買い物などに関する情報を相手に伝えようとする意思を示している。
- ・教科書 p. 104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。

(コミュニケーションの継続)

- ・教科書 p. 76 の SPEAKING 活動や p.77~78 のロールプレイ活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

(正確な対話)

- ・May I help you? Yes, I'm looking ~.の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。
- ・英語で好みのセーターを買うための正しい表現を使ってたずね、答えることができる。

(適切な対話)

- ・買い物では、looking for ~ の表現を使って欲しい品物を求めたり、medium, blue, a hundred dollars と言ってサイズ、色、予算の表現を使い分けたり、値段が高くて気に入らない場合には、It's too expensive. Please show me another one. のように別な商品の提示を示す表現を使ったりするなど、場面によって適切な買い物をすることができる。
- ・SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を変えて表現することができる。

●理解の能力

(正確な対話)

- ・買い物の対話表現 (Key Expressions) を正確に理解している。

(適切な対話)

- ・自然な口調で話された買い物の表現が正しく理解できる。
- ・きかれたことに対して、素早く適切に自分のことを相手に知らせることができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・買い物での対話表現 (Key Expressions) に関する文法 (POINTS) とイントネーション (SOUNDS) を正確に理解している。

(文化についての理解)

- ・海外で買い物をするとき地域や場所によっては店員と交渉しながら値段を決める場合があることを知っている。

③話すこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・教科書 p. 76 の SPEAKING 活動や pp. 77~78 の ROLE PLAY 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発話)

- ・May I help you? の疑問文と、Yes, I'm looking for ~.の買い物の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。
- ・May I help you? を使って、客に対して挨拶の表現を言うことができる。
- ・What を使って、サイズをたずねたり、相手が買いたいものの名前を言うことができる。
- ・How about this ~ one? を使って、別な商品をすすめることができる。
- ・How much ~? を使って値段をたずねることができる。
- ・It's too expensive. Please show me another one. を使って別な商品の提示を求める表現を言うことができる。
- ・be -ing ~ 「しているところです」 を使って欲しい商品を言うことができる。
- ・~ please を使い、large, medium, small などのサイズや blue, red, gray, purple, black, green, brown などの好みの色などを言うことができる。
- ・It looks ~. 「~に見える」 I'll take it. 「それを買います」 を使い、商品のイメージと購入の決定を伝えることができる。

(適切な発話)

- ・相手の目を見て話すことができる。
- ・大きな声ではっきりと発話することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・買い物に関する情報を聞き出す場合は、疑問詞などを使って質問することを知っている。
- ・May I help you? が客に最初に挨拶する表現であることを知っている。
- ・looking for ~ が欲しいものを伝える表現であることを知っている。
- ・What size do you wear? がサイズをたずねる表現であることを知っている。
- ・How about ~? が別な色を進める表現であることを知っている。
- ・expensive が値段に関する表現であることを知っている。
- ・show me ~. 別の物を見せてもらうときの表現であることを知っている。
- ・Be 動詞+~ ing が現在進行形を表す表現であることを理解している。
- ・Look (~に見える) のあとに形容詞を置くこと S+V(be 以外)+C を知っている。

(文化についての理解)

海外で買い物をするとき、地域や場所によっては店員と交渉しながら値段を決める場合があることを知っている。

④口頭で発表すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・間違ふことを恐れず積極的に人前で発表している。
- ・教科書 pp. 77~78 の活動を十分に練習し、スムーズに発表できるように主体的に取り組んでいる。
- ・道案内を、正しくわかりやすく伝えようとしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャー用いて発表を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発表)

- ・このレッスンで学習した買い物の表現を用いて、買い物のたずね方、答え方をクラス全員に示すことができる。

(適切な発表)

- ・クラス全体を見渡ししながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。
- ・自己紹介、クラスメートの紹介をするときの表現を理解している。

(文化についての理解)

海外で買い物をするとき、地域や場所によっては店員と交渉しながら値段を決める場合があることを知っている。

Lesson 11 Restaurant

①聞くこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・食事の注文を受けるためにたずね、答える相手と積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を示している。

(コミュニケーションの継続)

- ・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。
- ・聞かれた質問に対して、答えを準備したり、聞き返したり、間を置く表現を使ったりして適切に反応しようとしている。

●理解の能力

(正確な聞き取り)

- ・May, Would, Anything など始まる疑問文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。
- ・Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。
- ・LISTENING で使用されている注文の表現をきいて内容を正しく理解できる。
- ・Challenge!! (オプション) の ACTIVITIES(2)を聞いて、内容を正しく理解している。

(適切な聞き取り)

- ・May I take your order?という注文を受ける表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・I'll have ~.を使った注文の品を答える表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・Would you like something to drink?を使った飲み物をたずねる表現を聞いて、相手が飲みたい物の名前を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・I'd like ~.を使った注文の品を答える表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・Anything else?を使ったデザートなどをたずねる表現を聞いて、相手が食べたいものの名前を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・I'll have ~.や that's all 使った注文の品を答えたり、注文を断ったりする表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・pizza, spaghetti, curry and rice, fried rice, oolong tea, iced tea, salad, custard pudding などの表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・May I take your order?がレストランで客から料理の注文を取る表現であることを知っている。
- ・I'll have ~.がレストランで料理を注文する表現であることを知っている。
- ・Would you like something to drink?がレストランで客から飲み物の注文の取り方を知っている。
- ・I'd like ~.がレストランで飲み物の注文をする表現であることを知っている。
- ・Anything else? がレストランで客からデザートなどの注文を取る表現であることを知っている。
- ・I'll have~, No. that's all.がレストランでデザートを注文したり、注文を断ったりする表現であることを知っている。

(文化についての理解)

- ・欧米のレストランやホテルでは、サービスを受けたときチップを渡す習慣があることを知っている。
- ・レストランでのチップは、合計金額の10~20%が目安であることを知っている。

②対話すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・食事の注文などに関する情報を相手に伝えようとする意思を示している。
- ・教科書 p. 104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。

(コミュニケーションの継続)

- ・教科書 p. 83 の SPEAKING 活動や p. 84 の ROLE PLAY 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

(正確な対話)

- ・Would you like something to drink?の疑問文と、Yes, I'd like a cup of tea.の答えの表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。
- ・初めて会う人などに、あるところへの行き方を正しい表現を使ってたずね、答えることができる。

(適切な対話)

- ・注文によって、Yes. I'll have a ~.、や Yes, I'd like a ~.などの注文依頼の表現を使い分けたり、No, that's all. など注文を断る表現を使ったりするなど、場面によって適切な対話を行うことができる。
- ・SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を変えて表現することができる。

●理解の能力

(正確な対話)

- ・注文の対話表現 (Key Expressions) を正確に理解している。

(適切な対話)

- ・自然な口調で話されたレストランでの食事の質問が正しく理解できる。
- ・きかれたことに対して、素早く適切に自分のことを相手に知らせることができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・食事の注文の対話表現 (Key Expressions) に関する文法 (POINTS) とイントネーション (SOUNDS) を正確に理解している。

(文化についての理解)

- ・教科書 p. 82 に掲載されているように、欧米のレストランやホテルでは、サービスを受けたときチップを渡す習慣があることを知っている。
- ・レストランでのチップは、合計金額の 10~20% が目安であることを知っている。

③話すこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・教科書 p. 83 の SPEAKING 活動や p. 84 の ROLE PLAY 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・教科書 p. 83 の SPEAKING 活動や p. 84 の ROLE PLAY 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

(正確な対話)

- ・Would you like something to drink?の疑問文と、Yes, I'd like a cup of tea.の答えの表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。
- ・May I take your order?という注文を受ける表現を適切に使うことができる。
- ・I'll have ~.を使った注文の品を答える表現を適切に使うことができる
- ・Would you like something to drink?を使った飲み物をたずねる表現を適切に使うことができる。
- ・I'd like ~.を使った注文の品を答えることができる
- ・Anything else?を使ったデザートなどをたずねる表現を適切に使うことができる。
- ・I'll have ~. や that's all 使った注文の品を答えたり、注文を断ったりする表現を適切にすることができる。
- ・pizza, spaghetti, curry and rice, fried rice, oolong tea, iced tea, salad, custard pudding などの表現を適切に使うことができる。

(適切な発話)

- ・相手の目を見て話すことができる。
- ・大きな声ではっきりと発話することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・注文に関する情報を聞き出す場合は、疑問詞などを使って質問することを知っている。
- ・to drink が不定詞の形容詞的用法(to + 動詞の原型)であることを知っている。

(文化についての理解)

- ・発話の際には、相手の目を見るのが大切であることを理解している。
- ・大きな声ではっきりと発話することが大切であることを理解している。

④口頭で発表すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・間違えることを恐れず積極的に人前で発表している。

- ・教科書 p. 84 の活動を十分に練習し、スムーズに発表できるように主体的に取り組んでいる。
- ・道案内を、正しくわかりやすく伝えようとしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャーを用いて発表を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発表)

- ・このレッスンで学習した注文の表現を用いて、指定された料理、飲み物、デザートの注文のしかた、答え方をクラス全員に示すことができる。

(適切な発表)

- ・クラス全体を見渡ししながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。
- ・自己紹介、クラスメートの紹介をするときの表現を理解している。

(文化についての理解)

- ・発話の際には、相手の目を見ることが大切であることを理解している。
- ・大きな声ではっきりと発話することが大切であることを理解している。

Lesson 12 Making a Plan

①聞くこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・ 相手と何かをする約束を交わして都合のよい日時をたずね、答える相手と積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を示している。

(コミュニケーションの継続)

- ・ 「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。
- ・ きかれた質問に対して、答えを準備したり、聞き返したり、間を置く表現を使ったりして適切に反応しようとしている。

●理解の能力

(正確な聞き取り)

- ・ Let's~, Are~?, How ~?, When and where ~?などで始まる命令文や疑問文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。
- ・ Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。
- ・ LISTENING で使用されている約束の表現をきいて内容を正しく理解できる。

Challenge!! (オプション) の ACTIVITIES(2)を聞いて、内容を正しく理解している。

(適切な聞き取り)

- ・ Let's ~. を使った、一緒に何かをしようとする表現を聞いて、相手がしたいことを聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・ Sounds ~. を使った同意の回答を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・ Are ~? を使った、あいている日にちをたずねる表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・ Sorry~. を使った忙しくて都合が悪い回答の表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・ How about ~? を使った別な日にちの提案の表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・ I'm free~. を使った同意の回答の表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・ When and where ~? を使った待ち合わせ場所と時間をたずねる表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。
- ・ Let's ~. を使った待ち合わせ場所と時間を取り決める表現を聞いて、内容を適切に理解することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・ 待ち合わせの約束の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを知っている。
- ・ 一緒に何かをしようとする表現を知っている。
- ・ 同意の表現を知っている。
- ・ あいている日にちをたずねる表現を知っている。
- ・ 忙しくて都合が悪い旨の回答の表現を知っている。
- ・ 別な日にちの提案の表現を知っている。
- ・ 同意の回答の表現を知っている。
- ・ 待ち合わせ場所と時間をたずねる表現を知っている。
- ・ 待ち合わせ場所と時間を取り決める表現を知っている。

(文化についての理解)

- ・ 都合が悪いとき、相手の予定を大切にす欧米人に対して、率直に「都合が悪い」と断っても構わないことを知っている。

②対話すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・ 約束の取り決めに関する情報を相手に伝えようとする意思を示している。
- ・ 教科書 p. 104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。

(コミュニケーションの継続)

- ・ 教科書 p. 92 の SPEAKING 活動や p. 93 の PAIR WORK 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

(正確な対話)

- ・ When and where shall we meet? の疑問文と、Let's ~. で始まる命令文を用いた約束の取り決めの表現で、強く発音

するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。

- ・予定がない人などに、都合をたずね、どこへ何をしにいくかを決め、その待ち合わせ場所と時間を決める話し方を正しい表現を使ってたずね、答えることができる。

(適切な対話)

- ・ Let's ~. を使って待ち合わせ場所と時間を取り決めることができる。
- ・ Sounds ~. を使って同意の回答をすることができる。
- ・ Are ~? を使って、あいている日にちをたずねることができる。
- ・ Sorry ~. を使って相手の誘いを断ることができる。
- ・ How about ~? を使って、別な日にちを提案することができる。
- ・ I'm free ~. を使って同意の回答をすることができる。
- ・ When and where ~? を使って待ち合わせ場所と時間をたずねることができる。
- ・ SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を変えて表現することができる。

●理解の能力

(正確な対話)

- ・ 約束の対話表現 (Key Expressions) を正確に理解している。

(適切な対話)

- ・ 自然な口調で話された電話の応対の質問や自己紹介の表現が正しく理解できる。
- ・ 聞かれたことに対して、素早く適切に自分の都合を相手に知らせることができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・ 約束のとりきめでの対話表現 (Key Expressions) に関する文法 (POINTS) とイントネーション (SOUNDS) を正確に理解している。

(文化についての理解)

- ・ 日本人は誘いを断る際、必要以上に言い訳をするが、欧米人たちは率直に断ることを知っている。

③話すこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・ 教科書 p. 92 の SPEAKING 活動や p. 93 の PAIR WORK 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・ うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発話)

- ・ When and where shall we meet? の疑問文と、Let's ~. で始まる命令文を用いた約束の取り決めの表現で、強く発音するところ、音がつながるところを正しく発音することができる。
- ・ 予定のない人などに都合をたずね、約束をしてどこへ何をしにいくかを決め、待ち合わせ場所と時間を決める話し方を正しい表現を使ってたずね、答えることができる。

(適切な対話)

- ・ Let's ~. を使って待ち合わせ場所と時間を取り決めることができる。
- ・ Sounds ~. を使って同意の回答をすることができる。
- ・ Are ~? を使って、あいている日にちをたずねることができる。
- ・ Sorry ~. を使って相手の誘いを断ることができる。
- ・ How about ~? を使って、別な日にちを提案することができる。
- ・ I'm free ~. を使って同意の回答をすることができる。
- ・ When and where ~? を使って待ち合わせ場所と時間をたずねることができる。
- ・ SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を変えて表現することができる。

(適切な発話)

- ・ 相手の目を見て話すことができる。
- ・ 大きな声ではっきりと発話することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・ 約束のとりきめの対話表現 (Key Expressions) に関する文法 (POINTS) とイントネーション (SOUNDS) を正確

に理解している。

- ・ Let's ~.が人を誘うときの表現であることを知っている。
- ・ shall (shall we~ ?)が相手の気持ちを聞くときの表現であることを知っている。

(文化についての理解)

- ・ 日本人は誘いを断る際、必要以上に言い訳をするが、欧米人たちは率直に断ることを理解している。

④口頭で発表すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・ 間違えることを恐れず積極的に人前で発表している。
- ・ 教科書 p. 93 の活動を十分に練習し、スムーズに発表できるように主体的に取り組んでいる。

(コミュニケーションの継続)

- ・ 発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャーを用いて発表を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発表)

- ・ このレッスンで学習した約束の表現を用いて、あいている日、待ち合わせの場所と時間のたずね方、答え方をクラス全員に示すことができる。

(適切な発表)

- ・ クラス全体を見渡ししながら、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・ 普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。

Lesson 13 Future Jobs

①聞くこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・将来なりたい職業や、その理由、実現のためにすることに関して積極的に相手から情報を得ようとする意欲を示している。
- ・相手の発話に耳を傾け理解しようと努力する姿勢が見られる。

(コミュニケーションの継続)

- ・「聞いている」という意思表示を視線、表情、ジェスチャーなどで示すことができる。
- ・聞かれた質問に対して、答えを準備したり、聞き返したり、間を置く表現を使ったりして適切に反応しようとしている。

●理解の能力

(正確な聞き取り)

- ・将来なりたい職業をたずねたり答えたりする表現、What do you want to be ~?, I want to be ~. を使った文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。
- ・理由をたずねたり答えたりする表現、Why?, Because ~. を使った文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。
- ・実現のためにすることをたずねたり答えたりする表現、What are you going to do to make your dream come true? I'm planning to ~. I must ~. を使った文を聞いて、その内容を正確に理解することができる。
- ・Check で聞いた質問の意味を正しく理解している。
- ・LISTENING で使用されている職業名や実現手段の英語を聞いて内容を正しく理解できる。

(適切な聞き取り)

- ・なりたい職業をたずねる表現を聞いて、キーワード (What do you want to be ~?) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・なりたい職業を答える表現を聞いて、キーワード (I want to be ~.) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・理由をたずねる表現を聞いて、キーワード (Why?) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・理由を答える表現を聞いて、キーワード (Because ~.) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・実現のためにすることをたずねる表現を聞いて、キーワード (make your dream come true) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。
- ・実現のためにすることを答える表現を聞いて、キーワード (I'm planning to ~.) を聞き取ることができ、内容を適切に理解することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・Why で始まる疑問文は、文尾を下げたイントネーションで発話することを知っている。
- ・何をしたいかをたずね、答える表現を知っている。
- ・理由をたずね、答える表現の意味を知っている。
- ・現実に反する仮定 (仮定法過去) の表現の意味と、その答える表現の意味を知っている。

(文化についての理解)

- ・さまざまな職業の呼び方を、ある程度は知っている。

②対話すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・なりたい職業やその理由について自分の情報を相手に伝えようとする意思を示している。
- ・教科書 p. 104 に掲載されているような相づち表現を使って、相手の発言に反応し、関心を示す。

(コミュニケーションの継続)

- ・教科書 p. 98 の SPEAKING 活動や p. 99 の INTERVIEW 活動で、相手がうまく言えないときや相手が正確に聞くことができないときでも、別の表現を使うなど工夫して対話を継続しようとしている。

●表現の能力

(正確な対話)

- ・疑問詞で始まる疑問文を、正しいイントネーションで言うことができる。
- ・なりたい職業やその理由などを正しい表現を使ってたずね、答えることができる。

(適切な対話)

- ・なりたい職業やその理由について積極的に関心を示し、対話を継続することができる。
- ・SPEAKING では、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を創造的に変えて表現することができる。

●理解の能力

(正確な対話)

- ・なりたい職業、実現の手段の対話表現 (Key Expressions) を正確に理解している。

(適切な対話)

- ・自然な口調で話された、なりたい職業などに関する質問や応答表現を正しく理解することができる。
- ・きかれたことに対して、素早く適切になりたい職業やその理由、実現手段を相手に知らせることができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・なりたい職業やその理由、実現の手段についての対話表現 (Key Expressions) に関する文法 (POINTS) とイントネーション (SOUNDS) を正確に理解している。

(文化についての理解)

- ・教科書 p. 97 に掲載されているように、若者の志望する職業の国などによる違いを理解している。

③話すこと

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・教科書 p. 98 の SPEAKING 活動や p. 99 の INTERVIEW 活動で、積極的にクラスメートに質問したり、答えたりしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・うまく言えない表現があっても、知っている単語や語句を使ったり、ジェスチャーを用いたりして発話を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発話)

- ・What do you ~?で始まる文の最後のイントネーションは下げて発話することができる。
- ・What do you want to be ~?を使って相手のなりたい職業をたずねることができる。
- ・I want to be ~.を使ってなりたい職業を答えることができる。
- ・Why?を使って、相手のなりたい職業の理由をたずねることができる。
- ・Because ~.を使って、なりたい理由を表現することができる。
- ・What ~ to make your dream come true?を使って、その職業につくためにしようとしていることをたずねることができる。
- ・I'm planning to ~.などを使って、しようとしていることを答えることができる。

(適切な発話)

- ・相手の目を見て話すことができる。
- ・大きな声ではっきりと発話することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・want to be のように to+動詞の原形が名詞のような働きになり、主語や目的語として使えることを理解している。
- ・Why?を使って理由をたずねることができることを知っている。
- ・to make your dream come true を使って、夢を実現する手段をたずねることができることを知っている。
- ・be going to~の構文とその意味を理解している。
- ・長い副詞句をとまなう文とその答えについて、強勢を置くところ、区切るところを知っている。

(文化についての理解)

- ・発話の際には、相手の目を見るのが大切であることを理解している。
- ・大きな声ではっきりと発話することが大切であることを理解している。

④口頭で発表すること

●関心・意欲・態度

(言語活動への取組)

- ・間違えることを恐れず積極的に人前で発表している。

- ・教科書 p. 99 の発表原稿を何度も練習し、スムーズに発表できるように主体的に取り組んでいる。
- ・インタビューしたクラスメートのなりたい職業などを肯定的に伝えようとしている。

(コミュニケーションの継続)

- ・発表の途中で詰まったときや、うまく言えない表現があったとき、知っている語句やジェスチャー用いて発表を継続する工夫をしている。

●表現の能力

(正確な発表)

- ・ she/he wants to be ~. や because ~., she/he is planning to ~ の表現を用いて、クラスメートのなりたい職業やそのためにすることをクラス全員に知らせることができる。
- ・教科書 p. 100 の Challenge!! (オプション) で、なりたい職業などのスキットを KEY EXPRESSIONS や教科書の参考表現を使って作ることができる。
- ・教科書 p. 100 の Challenge!! (オプション) で、作った原稿をできるだけ正確な発音、イントネーションを用いてスムーズに発表できる。

(適切な発表)

- ・クラス全体を見渡しながらか、大きな声ではっきりと、普段の対話よりややゆっくり発表できる。

●理解の能力

- ・ Challenge!! で、教科書に掲載されている表現を理解することができる。

●知識・理解

(言語についての知識)

- ・ 普段の対話の時より、はっきりと発音すること、ややゆっくり発話することを知っている。
- ・ 三人称単数現在形の場合は、動詞の原型に -(e)s をつける (wants など) ことを知っている。
- ・ 仮定法の表現や、教科書 p. 95 紹介されている理由を言う表現を知っている。

(文化についての理解)

- ・教科書 p. 97 に掲載されているように、若者の志望する職業の国などによる違いを理解している。